

## 令和4年11月 第1回定例庁議

- 1 開催日時 令和4年11月4日（金）午後2時00分～午後2時20分
- 2 開催場所 4階特別会議室
- 3 付議事項（第6条）

(1) 指示事項（市長の指示、注意等）

新年度の予算編成作業にあたり、今一度職員全員が政策集団の一員であることを念頭に置いて取り組んでいただきたい。人口減少時代、コロナのパンデミックと、社会全体として不安を想像させるような場面が多く見られる状況であるが、本市の予算では夢の持てる良い予算が編成できればと考えているので協力をお願いする。

(2) 審議事項（市行政運営の基本方針、総合計画、重要議案、主要事業計画等の策定及び調整に関すること）

なし

(3) 報告事項（市政に重大な影響を与える法令等の制定改廃、国及び県の動向、又は重要な事務事業の進行状況に関すること）

なし

4 その他

①運転免許証の確認について（総務部庶務課副課長）

全国で公用車の運転の際に、運転免許証の更新忘れや、免許停止を受けていながらその事実を隠して問題になるケースが出ている。本市での公用車の安全運転に繋げるため、令和5年1月から定期的な免許証の確認を開始するので対応をお願いする。

②第75回香川丸亀国際ハーフマラソン大会における市職員の応援協力について

（市民生活部長）

第75回香川丸亀国際ハーフマラソン大会において、前日の準備から大会当日まで延べ334名の職員の応援を依頼するので協力をお願いする。現時点の一般の登録B・Cの申込者数は5,595人という状況であり、これに招待選手と登録Aの参加者が加わるが、非常に応募が少なく厳しい状況となっているので周知等お願いする。

③特別観覧施設「ROKU」の再開について（ボートレース事業局次長）

特別観覧施設「ROKU」については完成して直後にコロナの状況となり、本格的な稼働ができていなかったが、11月22日（火）から利用を再開する。コロナの状況を踏まえ、酒類の持ち込みを不可とするなど一定の制限を設けるが、利用を再開する運びとなったので周知等お願いする。

④G I京極賞について（ボートレース事業局次長）

11月12日（土）から6日間、開設70周年記念競走としてG I京極賞を開催する。

コロナも落ち着いてきつつある中で、場内イベントも再開するのでぜひ来場いただきたい。

⑤あやうたふるさとまつりの開催について（産業文化部長）

11月5日（土）、6日（日）の2日間、あやうたふるさとまつりを開催するのでぜひ来場いただきたい。コロナを踏まえ、恒例の焼肉パーティーは実施せず、時間も短縮して行う。

⑥ミモカアイについて（産業文化部長）

猪熊美術館において、現代美術の作品を公募し、入選作として決定した17名の作品を展示する公募展「ミモカアイ」を開催する。展覧会は11月20日（日）から2月26日（日）までで、絵画だけでなく創作物等も展示する。11月19日（土）には入賞者を決定し、1位の方に100万円を贈呈する。

⑦瀬戸内国際芸術祭について（産業文化部長）

明後日11月6日（日）で瀬戸内国際芸術祭の秋会期が終了する。従事いただいた応援職員にお礼申し上げる。今回はまた3年後になるので、ぜひともこの機会に来場いただきたい。

⑧議会報告会と意見交換会について（議会事務局長）

10月11日（火）に都市環境委員会が既に開催し、11月8日（火）には総務委員会「避難所について」と題し、防災士会との意見交換、11月19日（土）には教育民生委員会がコロナ禍における家庭生活・学校生活について、学校の教員や保護者・生徒との意見交換を行う予定としている。

5 副市長から

なし

6 教育長から

学校における教育活動や学校行事については、子どもたちだけでなく、地域や保護者を対象とする行事も実施できている。先日は、南中学校の40周年記念行事がPTAを中心に開催され、全校生とともに祝った。文化部の生徒の活躍もあり、有意義であったと聞いている。各校長とも面談を行っているが、その中でも学校行事等の教育的意義を実感しているところである。

7 モーターボート競走事業管理者から

舟券の売上は、現在の世相を反映して夏以降伸びておらず、一般レースは前年の結果を割っている状況であるが、今月のG I京極賞を励みにして売上の維持を図っていききたい。また、現在一般レースを開催中であるが、業界のトップレーサーである峰竜太選手が出場する。丸亀での一般レース出場は初めてであり、なかなか見られる機会も少ないため、ぜひ来場をお願いする。

8 出席状況

(1) 庁議構成者（第5条）

職	氏名	出欠
市長	松永 恭二	○
副市長	横田 拓也	○
教育長	末澤 康彦	○
モーターボート 競走事業管理者	大林 諭	○
市長公室長	山地 幸夫	○
総務部長	栗山 佳子	○
健康福祉部長	奥村 登士美	○
市民生活部長	田中 壽紀	○
都市整備部長	伊藤 秀俊	○
産業文化部長	林 裕司	○
ボートレース 事業局次長	富士川 貴	○
教育部長	七座 武史	代
消防長	浪指 孝章	代
議会事務局長	渡辺 研介	○

(2) 関係職員（第9条）

市長公室職員課長	徳 田 寛
総務部財政課長	宮 西 浩二
教育部長代理	
教育部総務課長	吉 野 隆志
消防長代理	
消防本部次長	宮 脇 淳
総務部庶務課副課長	森 信博

(3) 事務局（市長公室秘書政策課）

市長公室秘書政策課長	窪 田 徹也
市長公室秘書政策課政策マネジメント室長	高 倉 鋭悟
市長公室秘書政策課政策マネジメント室総括担当長	宇 野 大志郎
市長公室秘書政策課主任	大 川 智
市長公室秘書政策課副主任	安 藤 悠子